

第379回 昭和大学学会例会（保健医療学部会主催）

日時 2022年1月12日（水） 13:00～16:30

場所 昭和大学横浜キャンパス 104教室

1. 慢性疾患看護専門看護師による面談が患者満足度に与えた影響についての考察

昭和大学保健医療学部看護学科

高田 純子

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

2. 口唇口蓋裂児の母親の思い —就学を経験した語りから—

¹⁾ 昭和大学保健医療学部看護学科

²⁾ 昭和大学病院小児医療センター

櫻井 美里^{1,2)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

3. COVID-19影響下における家族との情報共有方法の検討

～生活状況アセスメントシートの導入～

¹⁾ 昭和大学病院小児医療センター

²⁾ 昭和大学保健医療学部看護学科

³⁾ 昭和大学統括看護部

田岡比呂美¹⁾, 櫻井 美里^{1,2)}

吉岡貴美絵¹⁾, 大崎千恵子^{2,3)}

【目的】COVID-19の影響により、多くの小児病棟において面会時間の短縮や制限が発生している。当小児病棟においても面会時間が10分の1に短縮し、家族からの情報提供不足の訴えが増加した。そこで私達は、入院生活の状況を家族に情報提供する用紙（以後、生活情報アセスメントシート）を導入したところ、一定の成果が得られたので報告する。

【方法】対象は10日以上入院期間、もしくは入院退院を繰り返している子どもの家族とした。生活情

報アセスメントシートには、看護師欄と家族記載欄を設けてベッドサイドに常設した。担当看護師が毎日子どもの1日の入院生活の状況を100文字程度で記載した。退院時の家族への聞き取り、および患者満足度調査項目（5点満点）のうち、苦痛や不安、相談や質問の設問3項目で評価した。

【結果】対象は、月平均13例であった。看護師記載欄は毎日更新されており、家族欄には看護師記載への感想や要望が記載された。聞き取り調査では、情報提供に満足した回答が多く、情報不足の訴えはなかった。患者満足度調査結果は、昨年度より今年度が3項目のうち2項目で0.2ポイント増加した。

【考察】生活状況アセスメントシートを導入し、双方向でのやりとりを可能にしたことで、面会時間が制限される中であっても、看護師と家族との情報交換が円滑となった。同シートを媒体として間接的な情報交換が毎日行われ、面会時間の短縮を補完する効果があったと考える。

4. 昭和大学病院におけるがん患者に対する苦痛スクリーニングの現状と看護介入に関する調査

¹⁾ 昭和大学保健医療学部看護学科

²⁾ 昭和大学病院看護部

³⁾ 昭和大学横浜市北部病院看護部

⁴⁾ 昭和大学医学部内科学講座（緩和医療科学部門）

我妻 志保^{1,2)}, 本間 織重^{1,2)}

脇谷美由紀^{1,3)}, 岡本健一郎⁴⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

5. ゼロポジション近似肢位での肘伸展筋力と肩肘関節モーメントとの関係

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻運動障害リハビリテーション領域
- 2) 昭和大学スポーツ運動科学研究所
- 3) 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター
- 4) 昭和大学藤が丘病院整形外科
- 5) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 6) 昭和大学病院リハビリテーションセンター
田村 将希^{1,2,3)}, 佐藤 満⁵⁾
阿蘇 卓也¹⁾, 尾崎 尚代^{2,5,6)}
田鹿佑太郎^{2,4)}, 西中 直也^{2,5)}

【発表内容掲載論文】

日肘関節会誌. 2020;27:389-393.

6. リバース型人工肩関節全置換術 (RTSA) 後の挙上動作時の経時的な三角筋と僧帽筋上部線維の筋活動比率の検討

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域
- 2) 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター
- 3) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 4) 昭和大学スポーツ運動科学研究所
- 5) 昭和大学藤が丘病院整形外科
井上 駿也^{1,2)}, 佐藤 満³⁾
田村 将希^{2,4)}, 西中 直也^{3,4,5)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

7. 集中治療管理を要した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の骨格筋体積の変化と転帰

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域
- 2) 昭和大学病院リハビリテーションセンター
- 3) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 4) 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
- 5) 昭和大学医学部集中治療医学講座
- 6) 昭和大学医学部放射線医学講座 (放射線治療学部門)
- 7) 昭和大学医学部放射線医学講座 (放射線科学部門)
松崎 文香^{1,2)}, 佐藤 満³⁾
笠井 史人⁴⁾, 小谷 透⁵⁾
村上 幸三⁶⁾, 関本 篤人⁷⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

8. 繰り返しの投球が肘関節に与える影響の検討

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域
- 2) 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター
- 3) 昭和大学保健医療学部理学療法学科
- 4) 昭和大学藤が丘病院整形外科
- 5) 昭和大学スポーツ運動科学研究所
- 6) 昭和大学横浜市北部病院放射線技術部
高橋 知之^{1,2)}, 西中 直也^{3,4,5)}
高橋 俊行^{3,5,6)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

9. がん薬物療法の有害事象評価シートの開発と看護師の活用による有効性の検討

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻内部障害リハビリテーション領域
- 2) 昭和大学病院看護部
- 3) 昭和大学保健医療学部看護学科
- 4) 昭和大学江東豊洲病院看護部
- 5) 共立女子大学看護学部
- 6) 昭和大学医学部内科学講座（腫瘍内科学部門）
- 7) 昭和大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門
- 8) 昭和大学病院薬剤部
- 9) 昭和大学医学部薬理学講座（臨床薬理学部門）
- 10) 昭和大学統括研究推進センター
- 11) 昭和大学横浜市北部病院内科（腫瘍）
- 12) 昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター内科腫瘍内科
- 13) ファミリーホスピス株式会社
本間 織重^{1,2,3)}， 渡邊 知映³⁾
福地本晴美^{3,4)}， 柏崎 純子⁵⁾
立場 雅子²⁾， 我妻 志保^{2,3)}
緒方空見子²⁾， 牧 克 仁²⁾
大塚江里子²⁾， 寺田 真未²⁾
平澤 優弥⁶⁾， 細沼 雅弘⁷⁾
村山 正和⁷⁾， 成川陽一郎⁷⁾
豊田 仁志⁷⁾， 鶴井 敏光⁶⁾
倉増 敦朗⁷⁾， 金 正 興⁸⁾
久保田祐太郎⁶⁾， 三邊 武彦^{9,10)}
堀 池 篤⁶⁾， 石田 博雄¹¹⁾
嶋 田 顕¹²⁾， 梅 田 恵^{3,13)}
角田 卓也⁶⁾， 吉 村 清⁷⁾

【発表内容掲載論文】

Front Pharmacol. 2022;13:744916.

10. 看護系大学で精神看護学を担当する若手教員の教育実践力支援に関する検討～若手教員の教育活動における困難と求めている支援に焦点を当てて～

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻精神障害リハビリテーション領域
- 2) 昭和大学保健医療学部看護学科
大河内敦子¹⁾， 榎 恵 子²⁾
三村 洋美²⁾

【発表内容掲載論文】

昭和学士会誌. 2022;82 印刷中.

11. 急性期脳卒中患者における早期トイレ排泄に関連する要因

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻精神障害リハビリテーションとケア領域
- 2) 小田原市立病院リハビリテーション室
新山 祐貴^{1,2)}， 鈴木 久義¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

12. 精神障害領域で働く作業療法士の学術研究参加の阻害要因の検討

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻精神障害リハビリテーションとケア領域
- 2) 昭和大学大学院保健医療学研究科
- 3) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻精神障害リハビリテーション領域
佐藤 範明¹⁾， 鈴木 久義²⁾
鈴木 哲理³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

13. 慢性腎臓病患者に対する栄養指導の有効な介入回数・期間・頻度の検討

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻臨床栄養学領域
 2) 昭和大学医学部内科学講座 (1)ウマチ・膠原病内科学部門
 宮永 直樹¹⁾, 井上 嘉彦²⁾
 島居 美幸¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

14. Dual Energy CT を用いた深部静脈血栓の性質と治療効果の評価

- 1) 昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻診療放射線領域
 2) 昭和大学横浜市北部病院放射線技術部
 3) 昭和大学江東豊洲病院放射線技術部
 4) 昭和大学藤が丘病院放射線技術部
 5) 昭和大学統括放射線技術部
 薄井 裕美^{1,2)}, 中島 潤也^{1,3)}
 中井 雄一^{1,2)}, 高橋 俊行^{1,2)}
 佐藤 久弥^{1,4)}, 加藤 京一^{1,5)}

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

15. 昭和大学歯科病院におけるフォーミュラ「成人における抜歯後疼痛に用いる非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)」の策定における経済性評価

- 1) 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
 2) 昭和大学統括薬剤部
 3) 昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門
 太田 品子^{1,2)}, 鈴木 信也^{1,2)}
 鎌谷 宇明³⁾, 佐々木忠徳²⁾

【目的】昭和大学では統括薬剤部を中心に、薬物治療の標準化、臨床的有用性の高い医薬品の使用促進、医療費の抑制等を目的とするフォーミュラを作成している。昭和大学歯科病院にて、成人における抜歯後疼痛に用いる NSAIDs を「有効性・安全

性・経済性・合理性」ごとに評価し、推奨薬を策定したので経済性の評価について報告する。

【方法】対象はロキソプロフェン、アセトアミノフェン、セレコキシブ、ジクロフェナク、イブプロフェンとした。各薬剤の先発品および、昭和大学歯科病院の後発品を主とした採用薬の価格を比較した。価格の比較は「各薬剤の1日あたりの薬価」とし、1日あたりの薬価は「1錠の薬価×1日の常用量」で計算した。

【結果】各薬剤の先発品において、価格はアセトアミノフェン、ジクロフェナク、イブプロフェン、ロキソプロフェン、セレコキシブの順で安価であった。採用薬において、価格はジクロフェナク、アセトアミノフェン、ロキソプロフェン、イブプロフェン、セレコキシブの順で安価であった。以上から、経済性の高い薬剤としてジクロフェナク、ロキソプロフェン、アセトアミノフェンが推奨された。

【考察】昭和大学歯科病院で鎮痛剤を選択する際のガイドラインという位置づけとして、フォーミュラを院内へ積極的に周知し、薬価の改定、用法の変更、採用薬の変更等の変化に応じて見直しを図る。

16. 気胸および気管支断端瘻症例の肺音の解析

- 1) 昭和大学大学院医学研究科外科系外科学 (呼吸器外科学分野) 専攻
 2) 昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター外科
 3) 昭和大学藤が丘病院呼吸器センター外科
 4) 昭和大学藤が丘病院呼吸器センター内科
 大橋 慎一^{1,2)}, 鈴木 隆³⁾
 鈴木 浩介²⁾, 植松 秀護²⁾
 神尾 義人³⁾, 北見 明彦²⁾
 鹿間 裕介⁴⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

17. 母乳中 Na/K 比に関する検討

- 1) 昭和大学大学院医学研究科病理系微生物学免疫学専攻
- 2) 昭和大学医学部小児科学講座（小児内科学部門）
- 3) 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座
- 4) 昭和大学医学部微生物学免疫学講座
古川 和奈^{1,2,4)}, 水野 克己²⁾
田 啓 樹³⁾, 伊與田雅之⁴⁾

【発表内容掲載論文】

J Hum Lact. 2022;38:262-269.